

沙流川平取地区水害タイムライン

第6回検討会(検証訓練)開催概要

平成28年11月28日(月)に平取町で「沙流川平取地区水害タイムライン第6回検討会(検証訓練)」を開催しました。「タイムライン」は「事前防災行動計画」とも呼ばれ、本検討会では、沙流川平取地区で水害が発生する可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携し、状況に合わせて防災行動をとるための検討を行っています。

第6回検討会(検証訓練)は、これまでの検討会で検討・整理された「沙流川平取地区水害タイムライン訓練用試行版」を机上訓練形式で実際に試行運用し、タイムラインを活用した防災対応の方法を学ぶとともに、関係機関同士の情報伝達を試行することにより、訓練用試行版の問題点や防災対応上の検討課題を抽出しました。

参加機関から多数の修正点や検討課題が挙げられたため、事務局で課題を整理した上で参加機関と調整を図り、年度内に「沙流川平取地区水害タイムライン試行版」を策定する予定です。



【実施日時】 平成28年11月28日(月) 13:00～17:00

【実施場所】 平取町中央公民館 大ホール

【参加者】 沙流川流域の防災関係機関 17機関 55名
副座長・アドバイザー、オブザーバー、事務局機関を含む

開会挨拶

事務局・開催地を代表し平取町の川上町長から開会挨拶がありました。昨年12月からタイムライン検討が始まり、多くの機関に協力を頂きながら本日の訓練まで至ったことに対し、改めて参加機関に感謝の意を表されました。検討途中に道内で大きな台風災害もあったため、今後のタイムラインを活用したより効果的な防災対応を目指し、本日の訓練での実りある検証を参加者をお願いしてお話を閉じられました。



検証訓練



藤間副座長の挨拶では、これまでの5回の検討会によりタイムラインに盛り込まれた453の行動細目について、災害シナリオに基づき、「誰が」「いつ」「どのような行動を行うのか」を検証し、今後の平取町の防災に大いに寄与するよう期待する旨がお話しされました。

副座長の挨拶に続き、事務局から訓練方法の説明を行い、さっそく訓練が開始されました。訓練は、台風の接近に伴う大雨による内水氾濫、沙流川の洪水などを想定した訓練シナリオを、30～5分の1程度に縮めた時間経過に基づき、各タイミングでの防災行動を「防災行動整理表」で整理する形で進めました。特に機関同士で行われる防災情報や災害情報のやりとりは、電話やメール・FAXの代わりに「情報連絡票」に記入し、伝達先の機関に直接手渡す形で検証しました。



訓練中は、どのような情報が必要か、どのように情報をやりとりするか等を機関同士で協議する場面も見られ、本訓練を通じて、一層の連携強化が図られました。今後に向けた多くの検討課題も抽出され、年度内のタイムライン試行版策定に向け、関係機関との検討及びタイムラインの修正を行っていく予定です。

最後に、黒木アドバイザー・志田アドバイザーから講評を頂きました。黒木アドバイザーからは、避難勧告等の発表タイミングとして夜間や激しい降雨時を避ける必要があるとの助言がありました。志田アドバイザーからは、災害発生シナリオは無数にあり常に柔軟に対応できる必要があるため、今回のような訓練をシナリオを変えながら繰り返し実施しておくことが必要との助言を頂きました。

